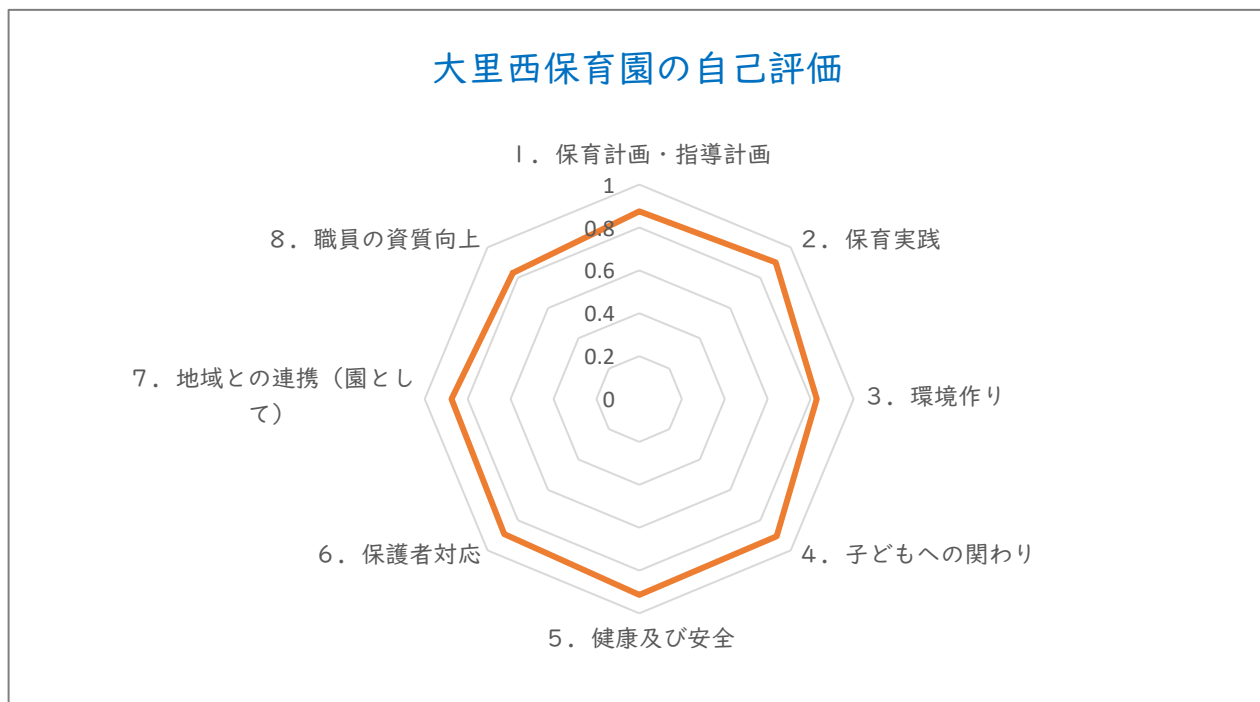


保育所保育指針では、保育の質の向上を図るため、「保育の計画の展開や保育士の自己評価を踏まえ、保育の内容等について、自ら評価を行い、その結果を公表するように努めなければならない。」ことが明記されています。当園では組織として自己評価に取り組みましたので公表します。



【総評】

稲沢市が目指す「子どもを尊重する保育ガイドライン」を守って、子ども一人ひとりを大切にする丁寧な保育を職員皆が実践したことで、「子どもに寄り添った関わり」や「健康及び安全」において高い数値となりました。

一方で「環境作り」と「保育士の資質向上」においては向上の余地があるため、子どもがワクワクするような空間の工夫と職員間の学びの共有に努め、現状に満足することなくより質の高い「子ども主体の保育」を目指します。

【今後の課題】

今後は、子どもの主体性をより豊かに育む環境構成と、職員の専門性を高めるために、職員間で日々の丁寧な子どもとの関わりを言語化・共有する時間を設け、園内研修の充実を図り職員一人ひとりの観察力と柔軟な対応力を養います。

環境構成の再構築と職員の専門性を高め、日々の保育が充実するよう園全体で取り組んでいきます。

